

# あわら 市議会だより



## 第41号

平成26年7月15日 発行



### Contents

6月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	5p
議会報告会	10p
請願・陳情・意見書	12p
議案と結果・討論	13p
ふるさと探訪	14p

第1回カヌー駅伝大会の様子です。Aクラス、Bクラス合わせて19チーム、約110名の参加がありました。

8月22日～24日には恒例となった、第25回あわらカップカヌーポロ大会が北潟湖で開催されます。全国レベルの大会で、迫力あるプレーがご覧になれますので、ぜひご来場ください。

議会がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

# 6月定例会 平成26年度一般会計補正予算(第1号) 1億1,121万2千円を増額

議会報告会(金津本陣IKOSSA 4月25日)



- 一般会計予算総額は144億5,121万2千円に
- 金津本陣IKOSSAの駐車場用地を4,079万2千円で取得
- 「ちはやふるギャラリー」平成27年3月まで延長
- 議員発議により「北陸新幹線の整備促進を求める意見書」を国へ提出

平成26年6月定例会が6月6日から26日までの会期で開催されました。今定例会では、専決処分の承認に関する1議案、平成25年度繰越計算書の報告に関する2議案、平成26年度補正予算に関する2議案、条例の改正に関する2議案の計7議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は9名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、請願1件を不採択とし、1件を継続審査としました。そして、議員発議により意見書4件を可決しました。

また、先の平成26年5月15日に臨時会が会期1日で開催され、専決処分の承認に関する1議案、平成25年度繰越計算書の報告に関する2議案、工事請負契約の締結に関する1議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

## 総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成26年度 一般会計補正予算

### ■総務課

姉妹都市友好 推進費68万9千円

委員 茨城県下妻市との交流を深めるとの事だがどのようにするのか。

理事者 江戸時代、結城秀康の家臣であった多賀谷左近三経公は、柿原地区に屋敷を構えていたが、下妻市出身との縁で、



多賀谷左近三経公の墓所

■文化学習課

公有財産購入費 (金津本陣 IKOSSA 駐車場用地) 4千79万2千円

委員 なぜ今になって駐車場用地を購入するのか。

姉妹都市協定を締結したい。

理事者 当初予算に計上すべきと思うが、なぜ、補正になったのか。

理事者 サッシが歪みガラスが割れている状況が4月末に把握したので、補正予算でお願いしたい。

### ■教育総務課

本荘小学校体育館 サッシ改修工事 1千400万円



購入するIKOSSAの駐車場用地

債権の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

委員 条例の趣旨は何か。

理事者 当初の想定より利用者が多く、現在の駐車場では狭いため、県道を挟んだ現在の駐車場とその北隣りの用地を購入したい。

今後は、IKOSSA2階の郷土歴史館の来館者を増やすよう努力したい。

また、税以外の水道料や給食費などの徴収も収納推進課で行うようになるのか。

理事者 この条例は、債権の保全及び処理を行うにあたり、個人情報利用及び提供に関する取り扱いを定めるものである。全ての滞納案件を収納推進課に移管するものではなく、差押え等をする場合のみ、担当課から収納推進課に移管する。

平成28年4月の統合を目指したい。

委員 市が方針を打ち出し、指導力を発揮しない、何も進まないのではないか。

理事者 一日も早い統合を目指しているが、地元の合意が必要である。全員賛成は難しいが、納得していただけるよう努力したい。

されているが、考え方が一貫していないのではないかと。

理事者 これまでの経緯については反省している。昨年、施設の方性を市民とともに考えてきたが、音楽コンサートやにぎわい市、物販売等ができる施設でカフェ機能を求める意見もあった。

### ■議案外の件

小学校の統廃合について

委員 小学校の統廃合についての状況はどうなっているか。

理事者 4月から、対象校区の区長会にお願いして説明会を開催し、地域の理解が得られた場合、

「子どもを中心に」との考え方は理解してもらっている。2回目以降の説明会からは、具体的方向性を示し、統合を進めたい。

委員 JR芦原温泉駅前のにぎわい交流館について、3回も設計が変更になっている。今回、施設を5分割する案が提示

これらを集約して、当初の案が出来たが、建築基準法との関係で、施設を分割する必要があり、今回の案となった。

市民が希望しているソフト事業は、今回の案でいずれも対応できると思うので、この案をベースに市民や議会と相談して、整備を進めたい。

# 厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成26年度  
一般会計補正予算

### ■農林水産課

**鳥獣害のない  
里づくり推進事業  
補助金29万5千円**

委員 電気柵は効果が薄いのではないかと、

理事者 電気柵はメンテナンスが大変であり金網固定柵へシフトしている。しかし、丹南地区では、メンテナンスをしっかりと行えば電気柵で十分な効果を上げている。

金網固定柵は、剣岳地区から菅野、宮谷地区で整備中だが、細呂木地区の橋屋、樋山、沢坪江地区の牛ノ谷での整備が手付かずである。今回設置する橋屋地区については、高齢化率が高く、自作農家が少ない状況で

あるので、費用負担が大変であるための電気柵設置である。

また、今後の対策として、狩猟免許取得の助成により、集落の有害鳥獣捕獲のリーダーを養成し、捕獲促進を行いたい。防護柵での防ぎよ、捕獲による個体数の減少、寄せ付け管理の3つの対策で対応する。

**地域担い手づくり  
整備事業補助金  
379万9千円**

委員 事業終了後の成果について報告書提出を要望する。

理事者 国の補助事業であり、報告が義務付けられているので、今後は委員会で報告したい。



湯かけまつりの様子

### ■観光工商課

**夏祭り事業補助金  
50万円**

委員 今までの反省点を踏まえて、今年度の計画を立案し実行するように。理事者 本年の「湯かけまつり」とその関連イベントをグレードアップした「プレ130周年祭」として充実させるとともに、インターネットを活用して、広く情報を配信する。

**あわらし魅力館  
あわらんでな事業  
委託料337万円  
北陸新幹線開業  
対策事業委託料  
110万円**

委員 「ちはやふるギャラリー」は大変好評であるが、今後の展開はどう考えているのか。

理事者 漫画「ちはやふる」を活用した観光資源の開拓を目指し、各種事業を展開しており、来年については、これらの事業を精査して続けるかどうか検討していく。

また来年3月に「にぎわい交流館」が完成することもあり、「ちはやふる」を取り上げるかどうかについても、検討する。委員 観光とは別に、あわらし市は百人一首が盛んでもあるので、百人一首の普及も考え、イメージづくりの検討を要望する。



かるた教室の様子

平成26年度  
公共下水道事業  
会計補正予算

**公共下水道事業計  
画策定業務委託料  
456万1千円**

委員 農業集落排水は農林水産省の補助を受けて整備したものであり、公共下水道へ接続する事に対して問題は無いのか、またいつ頃の接続になるのか。理事者 農業集落排水については供用開始から10年経過していれば、用途変更しても補助金の返還は生じず、処理場を取り壊さない限り補助金返還はない。

なお、青ノ木・宮谷地区については20年、剣岳地区は15年経過している。今年度中に業務委託を発注し、平成27年度から随時整備する予定である。

# 市政について問う!

6月の定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



## 質問席

### ■吉田 太一 議員

●北陸新幹線金沢開業に向けた「観光あわら」の課題について

### ■三上 薫 議員

●ネーミングライツ(施設命名権)の導入について  
●歳入確保のための納税環境の整備について

### ■森 之嗣 議員

●北陸新幹線金沢開業とその後の県内延伸を見据えたまちづくりについて

### ■平野 時夫 議員

●ネット依存症対策について

### ■山田 重喜 議員

●広域基幹林道剣ヶ岳線の事業促進について

### ■八木 秀雄 議員

●市民の安全安心のための防犯カメラの設置について  
●あわら温泉開湯130周年祭について

### ■山本 篤 議員

●デマンド交通や公共交通網と観光誘客における交通手段の確保について  
●JR芦原温泉駅周辺整備計画について  
●公共施設におけるクリーンルームの設置について

### ■山川 知一郎 議員

●原発事故対策は  
●小・中学校における2学期制実施について

### ■坪田 正武 議員

●フットボールセンターの誘致について



吉田 太一 議員

### 「観光あわら」の課題について

**吉田** 観光客の回遊性を高め継続性を持たせるため、観光拠点をどのようにつなげていくのか。

また、市民の理解や協力があつてこそ成功すると考えるが、「観光のまちあわら」としてどのように市民と協働していくのか。

**市長** 回遊性と観光拠点については、花や笑い、あるいは、音楽といった要素も加えたソフトウェアをさらに充実させ、ハード事業とソフト事業の効果的な展開により



湯のまち広場に完成した芦湯(足湯)

観光客の回遊性を高めることが、当面の対策として、特に重要であると考えています。

また、まち歩きや市内観光のモデルコース、あるいは、見どころや味処といった地元ならではの情報を提供するなど、観光客の満足度を高めるためにも、先ごろオープンした芦湯や、整備を進めている「にぎわい交流館」を情報発信のたのめ拠点として、有効に

活用したいと考えています。

市民との協働については、様々な業態の皆さまが集まる市観光協会を中心に、市民や各種団体が集う「観光まちづくりのためのプラットフォーム」を早急に構築することが、強く求められています。

今後は、これまで以上に観光協会との連携強化に努めたいと考えています。



三上 薫 議員

### 施設命名権を導入しては

**三上** 市の新たな財源の確保として、市内の公共施設に対して、ネーミングライツ（施設命名権）導入の考えはないか。

**総務部長** 一般的に、ネーミングライツは、スポーツ施設や文化施設などで多くの導入事例があり、あわら市の場合、「金津創作の森」、「セントピアあわら」、「芦湯」などが考えられます。しかし、いずれの施設も名称を変更することは考えにくいと思います。また、複数年に一度、施

設名が変更される可能性があることから、「インターネットでの検索にヒットしない」、「カーナビなどの各種地図サービスで、古い名称が使用される」といった問題も指摘されています。

こうしたことから、このネーミングライツの取り組みは、財政上のメリットのみならず、市内事業者を取り巻く経済環境や公共政策上の観点に加え、道路や橋梁といった対象施設の拡大など、メリット・デメリットを総合的に検討しながら、調査研究を進めたいと考えています。

### 歳入確保のための納税環境の整備について

**三上** スマートフォンや携帯電話から、税金などが納付できる仕組みを導入してはどうか。

は、地形が急峻であり、工事用道路の設置も困難であることなどの理由から、未だ、工事着工には至ってなく、平成30年度完了へ変更されています。

なお、本年度の国庫補助額は、要望額を大きく下回っている状況です。この状況が続くと、5年後の完成も厳しくなることから、県や坂井市、剣ヶ岳線林道開設促進期成同盟会とも連携し、予算獲得を関係機関等に強く要請したいと考えています。

今年度工事が完成する市野々刈安線から坂井市丸岡町山竹田間10.6kmについては、多くの方々にご利用をいただくと考えていますので、供用に際しては、広報紙や市ホームページ等でお知

**財政部長** システムの開発費用やネットワークの環境整備に多額の費用が必要で、費用対効果の問題があります。

しかし、利用者にとっては大変利便性の高い支払い方法であることは、十分認識しています。よって、電算システムの更新時などに、これらのシステムを併せて導入することにより、経費の圧縮も可能ですので、現在、電算処理システムを共同導入している坂井市、永平寺町、そして各金融機関などとも協議しながら、今後の導入に向けた検討をしたいと考えています。



森 之嗣 議員

### 北陸新幹線県内延伸を見据えたまちづくり

**森** 金津本陣にぎわいプロジェクトの展望は。また、北陸新幹線敦賀開業までの工期短縮により市の財政に影響はないのか。

**市長** この事業は、JR 芦原温泉駅周辺のにぎわいづくりを進めるものです。

このうち、にぎわい交流館の整備は、今年3月に完成した設計外観等がインパクトに乏しく、拠点施設としての話題性にも欠けることから、デザイン性や機能性、独

創性等の向上に取り組み、新たな概要案を作成しました。

しかしながら、斬新なデザインに加え、見直しに至る経緯などについて十分ご理解いただけたことがあり、新しいデザイン、方向性等は、ワークショップの市民委員の皆様から賛否両論の意見があります。

このため、引き続き丁寧な説明を行うとともに、委員の皆様のアイディアや要望なども取り入れながら、来年の3月までに福井県の北の玄関口にふさわしい拠点施設へと作り上げていきたいと考えています。

さらに、山寺公園を活用したポケットパーク、本陣飾り展示施設、金津神社参道周辺の道路修景や、案内サインの整備、モニメントの設置を進めながら、JR 芦原温泉駅周辺における回遊性の向上と、にぎわいづく



にぎわい交流館に改修する空き倉庫

りを進めたいと考えています。

工期短縮に伴う市財政への影響ですが、整備新幹線の建設に伴うあわら市の負担金は、総額約3億円を見込んでいます。

県の説明では、工期短縮により総事業費の変更はないとのこと、負担金の総額は変わりません。

よって、単年度当たりの負担増は想定されませんが、調整は可能であり、大きな影響はないと考えています。



山田 重喜 議員

### 広域基幹林道 剣ヶ岳線の事業促進について

**山田** 工期を5年延長する理由は。

また、市野々刈安線から坂井市丸岡町山竹田間は、今年度工事が完成する予定であるが、この区間の供用開始はどのように考えているのか。

この林道は、観光道路にもなり、舗装する構想はないか。

**経済産業部長** 当初の事業計画では平成26年度の完了とされていましたが、熊坂から畝市野々地係における施工



刈安線(左)と剣ヶ岳線(右)の分岐点

は、地形が急峻であり、工事用道路の設置も困難であることなどの理由から、未だ、工事着工には至ってなく、平成30年度完了へ変更されています。

なお、本年度の国庫補助額は、要望額を大きく下回っている状況です。この状況が続くと、5年後の完成も厳しくなることから、県や坂井市、剣ヶ岳線林道開設促進期成同盟会とも連携し、予算獲得を関係機関等に強く要請したいと考えています。

今年度工事が完成する市野々刈安線から坂井市丸岡町山竹田間10.6kmについては、多くの方々にご利用をいただくと考えていますので、供用に際しては、広報紙や市ホームページ等でお知

らせたいと考えています。

林道の舗装については、国の基準で縦断勾配が9%を超える区間は、コンクリート舗装が認められています。

よって、9%未満の区間については、未舗装となっています。しかしながら、未舗装区間であっても、急カーブなどの危険箇所等は、県補助金を活用した舗装整備も検討したいと考えています。



平野 時夫 議員

### ネット依存症対策 について

**平野** 国のネット依存調査報告に対してどのような所見を持っているのか。

また、本市の学校の現状をどのように把握しているのか。そしてネット依存防止対策の具体案はあるのか。

### 教育長 インター

ネットは社会とつながり、使用方法を一步誤ると依存症をはじめ、いじめや犯罪などにもつながる危険性を含んでおり、憂慮すべき問題であると認識しています。昨年10月に小学5年生から中

学3年生に対して、パソコンやスマートフォンなどの通信機器の保有や、無料通信アプリ「LINE」や交流サイト「フェイスブック」、「ツイッター」等、インターネット利用状況の把握を行いました。

トラブルに関する事例の多くは、保護者が契約した通信サービスや、児童生徒にどのような利用させるかを十分チェックしていなかったことに起因するものです。安全安心なネット利用のためには、何よりも各家庭での理解や指導、見守りが最も重要です。

教育委員会では、全保護者に「ケイタイの怖さ知っていますか?」というパンフレットを配布し、ネット社会に潜む危険や情報流出等の落とし穴などを親子で理解してもらい、各家庭での取決めなどを要請しています。

また、学校ではルール、マナー、いじめや人権など、各教科で指導しています。そして、小中高の生徒指導担当教諭や警察などで組織する「あわらし市指導主事連絡会」においても情報交換を行い、事案の発生がうかがわれるような時には、個別指導、全校集会を開催するなど対応しています。

### ネット依存の症状

- ・自分の意思でインターネット等をやめることができない
- ・日常生活に支障をきたすようになる
- ・ネットをしていないと不安になる、イライラする
- ・自分が何をしているのかわからなくなる
- ・幻聴・幻覚に悩まされる



八木 秀雄 議員

### 防犯カメラの 設置について

**八木** 防犯カメラの今後の設置方針は。

### 総務部長 今後の設

置方針についてですが、カメラは24時間稼働で、望む望まないに関わらず、人の容貌・姿態など大量の個人情報記録されます。よって、日常生活の場である道路、住宅地などへの設置は、住民のプライバシーやカメラ設置によってもたらされる効果などについて、よく検討をしなければならぬと考えています。しかしながら、不特定多数の人が利用する公

共施設等、例えば駅前広場などは、施設の管理上必要であれば、施設管理者の責任において、防犯カメラの設置はやむを得ないのではないかと考えています。

### 開湯130周年祭 について

**八木** 開湯130周年祭をどのように開催するのか。

### 市長 あわらし温泉開

湯130周年祭の開催は、昨年7月に、芦原温泉旅館協同組合及び市観光協会と協議を行い、来年3月の北陸新幹線金沢開業以降に開催することで、合意しています。

市としては、本年10月を機に実行委員会を立ち上げ、その実施計画案について検討したいと考えています。開催時期は、例年8月



開湯120周年祭の様子

8・9の両日に開催されている「あわら湯かけまつり」に代えて、8月から9月にかけて長いスパンで、「土曜・日曜日にあわらへ行けば、楽しいイベントが用意されている」といった組立てにより、多くの観光客をお迎えし、そして10月にJRグループ6社と関係自治体で展開する「デスティネーションキャンペーン」につなげて行くことが効果的であると考えています。



山本 篤 議員

### 誘客のため、交通 手段を確保せよ

**山本** 住民及び市内観光、また加賀市や坂井市を含めた広域観光に対する公共交通網はどうか。

### 市民福祉部理事 デマ

ンド交通で、観光客の利便性を考え協議を行っており、事業者の協力が得られるよう、現行制度のメリットを確保しながら、効率的な運行システムの構築に努めます。

また、京福バスで、あわら湯のまち駅から北潟花菖蒲園までの運行を、吉崎まで延長できるように、関係機関と十分協議します。

### 経済産業部長 金沢

からの誘客及び、JR芦原温泉駅からの交通アクセスは、重要かつ大きな課題であり、今後は、関係者との協議を加速化させ、有効な交通手段を確保していきます。

### 山本 金津祭りや湯

かけまつり等を含め、各種イベントでシャトルバスを有効活用するよう、強く求める。

### JR芦原温泉駅 周辺整備計画に ついて

### 山本 「にぎわい交

流館」整備で、行政より新たに提案された設計に対し、市民委員は混乱を招いている。意見をよく取り入れて行うための決意確認と、今後の進め方は。

また、竹田川を利用した整備はないのか。  
**総務部長** 委員に対し、不備があった点は、改

めてお詫びし、その経緯なども丁寧に説明しながら、意見の集約に努め、整備していきます。

### 土木部長 北陸新幹

線延伸に向け、駅周辺整備事業を集中的に進めますが、竹田川を再生利用することは、にぎわいづくりにも、大きく寄与することが期待され、長期の計画として検討します。

### 公共施設へクリーン ルーム設置を

### 山本 「たばこ税」で、

2億円の歳入がある。有害性だけを問わず、主な公共施設に「クリーンルーム」を設置しては、

**総務部長** 「分煙」から「全面禁煙」に至った経緯から、クリーンルームの設置は考えていません。庁舎内に設置してある「たばこ自販機」は、撤去する方向です。



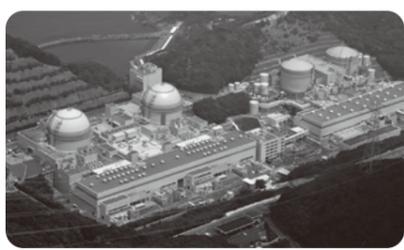
山川 知一郎 議員

### 原発・福井地裁 判決を尊重し、 市民の安全を守る 対策を

### 山川 福井地裁は「福

島原発事故を通じて、原発は本質的に危険なものであることが明らかとなったとして、住民の命と暮らしを守るためには、大飯原発を運転してはならない」「原発から250km以内に住む者は命と暮らしを侵害される恐れがある」との判決を下した。

この判決をどのように考え、ヨウ素剤の配布や事故時の避難はどうするか。



大飯原発

**市長** 関西電力が控訴しているので、判決についての意見は差し控えてさせていただきます。県は、原子力災害対策については、原発から30km以内を対象としていますので、現時点で、市独自にヨウ素剤の配布や避難計画の策定をすることは考えていません。

二学期制実施の理由は何か。また、中学校で4年間実施した結果をどう考えているのか。二学期制に伴う問題点はないのか。

### 教育長 学習指導

要領の改訂により、小学校の授業時数が6年間で278時間、中学校では3年間で105時間増えました。この授業時数を確保することが二学期制実施の理由です。中学校で実施した結果は、年間30時間以上の授業時数を確保でき、生徒への丁寧な指導や充実した教育活動が行われ、学力も年々上がっています。

**なぜ 一学期制実施か**  
**山川** 小学校での唐突な二学期制実施に、多くの市民や保護者から疑問や批判の声が上がっている。



坪田 正武 議員

### フットボールセンターの誘致について

坪田 フットボールセンター誘致によるメリットはどのようなものがあるのか。また、完成までのタイムスケジュールはどうなっているのか。

### 市長

フットボールセンターの誘致によるメリットは、本格的なサッカー場が整備され、手軽に利用できるようになることで、サッカーの普及、促進が図られると考えています。

また、一流チームのプレーを直接観ることができれば、子供たちの技

術力向上や強化にもつながり、サッカー人口の増加と底辺の拡大が図られると思っています。なお、あわら市は、JR芦原温泉駅や北陸自動車道金津インターといた交通網が整備されているだけでなく、疲れを癒すことができるあわら温泉に多くの宿泊施設が備わっています。

フットボールセンターが整備されることにより、全国各地からの「スポーツ合宿」による誘客が見込まれ、街の活性化につながることもメリットの一つであると考えています。

石川県七尾市には、市内に合計5面のサッカーコートが整備されており、首都圏を含め、県外から年間3



七尾市和倉温泉多目的グラウンド

万人のスポーツ合宿の宿泊者がいると聞いていますので、あわら市においても、同様の効果が得られるものと期待しています。建設に向けてのスケジュールですが、本年度中に建設地の選定及び事業費を算出し、速やかに日本サッカー協会の認定を受け、平成29年3月末までに施設を完成させたいと考えています。

## 第6回議会報告会を開催しました

平成26年4月23日、24日、25日の3日間、市内12ヶ所において第6回議会報告会を開催しました。合計222人の市民の皆様にご来場いただき、3月定例会の審議状況を報告し、参加者との意見交換を行いました。多くのご意見やご要望がありましたので、皆様の声を抜粋して紹介します。

### JR芦原温泉駅前の整備について

平成27年3月の北陸新幹線金沢開業に向けた整備ではなく、約10年後になる芦原温泉駅開業を見据えた整備を今から進めるべきではないか。工期が短縮される可能性もある。

### あわら温泉街の整備について

足湯や歩道の整備など、27年度までに多額の予算を投じるが、集客効果があるか疑問である。

ハード事業を活かすには、地域の方が行うソフト事業が不可欠である。今から事業者の意識改革を促しているのでは、遅すぎるのではないか。



議会報告会(細呂木公民館 4月24日)



地引網の様子

### 波松海岸について

あわら湯のまち駅南側にある駐車場だが、観光客に分かりやすくするため、案内看板を設置すべきである。

波松海岸を一つの観光資源として考えてほしい。地元だけで行う海岸掃除は限界である。観光商工課なども協力してもらい、補助金なども検討してほしい。観光地引網に補助を行う、誘客の手段としてはどうか。

### 北潟湖畔

### 花菖蒲園

### について

咲いている花の数が年々減少しているように感じている。(菖蒲園が寂しくなっている)管理面で、抜本的な対策が必要なのではないか。



議会報告会(伊井公民館 4月25日)

### 鳥獣害対策

### について

ハクビシンやアライグマによる農作物被害が増加している。対策を強化してほしい。

イノシシの被害区域が急速に拡大している。丘陵地に侵入することのないよう、対策を講じてほしい。



議会報告会(波浜公民館 4月24日)

### 小学校の統廃合について

行政は地域の意見をよく聞き、廃校になる小学校の利活用もじっくり考えてほしい。

地域に小学校が無くなる若い世代はその地域に住まなくなり、

### 老人福祉センターについて

今後、施設を整備するのであれば、介護予防やリハビリができる施設にしてはどうか。

「行政が出向き良い防災訓練になるよう指導している」とあるが、

### 議会報告会

### について

広報を早く行い、もっと宣伝すべき。

多数のご意見をいただき、ありがとうございました。

皆様からいただきましたご意見・ご要望につきましては、これからの議会活動などに反映してまいります。

平成26年5月 第70回あわら市議会臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案	議決結果	議員																	
		山本篤	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	森之嗣	杉本隆洋	山田重喜	三上薫	八木秀雄	笹原幸信	山川知一郎	北島登	向山信博	坪田正武	卯田ひろみ	山川豊	東川継央	杉田剛
専決処分の承認を求めることについて (市税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について (金津雲雀ヶ丘養護老人ホーム新築(建築)工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成26年6月 第71回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案	議決結果	議員																	
		山本篤	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	森之嗣	杉本隆洋	山田重喜	三上薫	八木秀雄	笹原幸信	山川知一郎	北島登	向山信博	坪田正武	卯田ひろみ	山川豊	東川継央	杉田剛
専決処分の承認を求めることについて (平成26年度産業団地整備事業特別会計補正予算(第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
債権の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新たな米政策に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業改革に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北陸新幹線の整備促進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
「農業改革」を見直し、食料自給率の向上を最優先にした農政を求める請願	継続審査																		

討論 「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願

**賛成**

来年は広島・長崎の被爆から70周年。高齢化した被爆者は「生きているうちに地球上のすべての核兵器を無くしてほしい」と切実に願っており、この声に応えることは、我々の責務である。

来年、国連で核兵器廃絶のための会議が開かれるが、これを成功させるため、唯一の被爆国であり、「非核三原則」を持っている日本の政府が、国際社会で積極的役割を果たすことが求められている。

北陸新幹線の整備促進を求める意見書

北陸新幹線は、10年後に敦賀まで延伸するとなっているが、その先は全く見えていない。また、延伸されれば現在の北陸線は第3セクターが経営するとのことであるが、どのような形になるのか、財政負担はどうなるのか等も全く明らかにされていない。

さらに、敦賀までとなれば、関西との関係は現在よりも不便になる事が予想され、また新幹線が開通することにより、人口流出が加速される恐れもある。

あわら市にとって、「新幹線は必要ない」との意見もあり、厳しい財政状況の中で、建設を急ぐ理由はない。

**反対**

請願・陳情・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願

【要旨】

2010年の核不拡散条約再検討会議において「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」と合意した。しかし、4年が経過した今も「核兵器のない世界」を達成する具体的な道筋は見えてこない。

よって、政府は核兵器全面禁止条約の交渉開始のために努力するように求める。

【提出者】 原水爆禁止国民平和大行進・世界大会福井県実行委員会

【結果】 不採択

【不採択理由】

国際的な問題であり、地方議会が意見を言うべきではない。また、非核三原則で十分に日本の立場は対外的にも示している。

●TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する要請書

【要旨】

TPP交渉において、衆参農林水産委員会決議を必ず実現し、交渉に関する情報を国民へ開示することを強く求める。

【提出者】 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

【結果】 国へ意見書を提出

●新たな米政策に関する要請書

【要旨】

今回の農政改革では、経営所得安定対策の見直しや日本型直接支払制度、さらには農地中間管理機構を創設した。農業者に大きな不安と混乱を与えている。将来に向け、農業経営が安定し、さらには地域農業と農村の発展に向けた取り組みがなされるよう、強く要望する。



【提出者】 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

【結果】 国へ意見書を提出

●農業改革に関する要請書

【要旨】

農業改革において農業・農村の所得向上と農地の有効活用につなげるための真の施策を構築するよう求める。

【提出者】 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

【結果】 国へ意見書を提出

●あわら市農業対策に関する各種要請

【要旨】

- ①有害野鳥対策に関する要請
- ②小動物(ハクビシン等)・イノシシ害対策に関する要請
- ③稲カメムシ等の防除に関する要請
- ④農業用ビニール等の廃棄物処理に関する要請
- ⑤園芸・畜産の活性化と振興に関する要請

【提出者】 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

【結果】 厚生経済常任委員会より、市へ積極的に取り組むよう要望

●北陸新幹線の整備促進を求める意見書

【要旨】

北陸新幹線は、国土を強靱化し、日本全体の経済を元気にする成長戦略そのものである。金沢・敦賀間は、少なくとも3年短縮して完成・開業の実現を図らなければならない。

貸付料の新規着工区間の前倒し活用や算定期間の延長をはじめ、公共事業費の拡充など積極的な財政措置を講じることを求める。

【結果】 国へ意見書を提出

## 議会日誌

おもな会議のみ掲載

3月24日 広報編集特別委員会  
26日 広報編集特別委員会

4月3日 広報編集特別委員会  
9日 全員協議会

23日 議会報告会(市内4会場)  
24日 議会報告会(市内4会場)  
25日 議会報告会(市内4会場)  
30日 全員協議会

5月15日 議会運営委員会  
全員協議会

19日 厚生経済常任委員会 管内視察  
20日 総務文教常任委員会 管内視察  
29日 議会運営委員会  
30日 全員協議会

6月6日 第71回議会定例会 開会  
9日 議会活性化特別委員会  
13日 第71回議会定例会(一般質問)

16日 総務文教常任委員会  
17日 総務文教常任委員会  
18日 厚生経済常任委員会  
23日 厚生経済常任委員会  
25日 議会運営委員会  
26日 全員協議会  
第71回議会定例会 閉会

## ふるさと探訪

## 「瓜生城址」

瓜生にある横山神社の右脇の細い道を通って、城山の急な坂をまっすぐに10分ほど登ったところに、瓜生城のお堀の跡がある。城の主郭は前方後円墳を利用して出来ていて、登ってくる途中には敵の侵入に備えた跡らしきものがある。

瓜生城は、風谷峠を越えて加賀国境へつながる重要な位置にある。城の同じ峰続きの北端には、永正4年(1507年)加賀から侵入した一向一揆の立てこもった櫛山城くしやまじょうがあつて、その城に対する向い城として瓜生城が存在した。(福井県史)

登って来た道から少し左に下っていくと、武曾氏の菩提寺である日源寺のお墓にたどり着く。朝倉の家臣武曾信濃守勝融むすしなの かみかつあき(画像は市の指定文化財)は、朝倉貞景・孝景・義景の三代に仕えて、一向一揆の戦に出陣した。瓜生城から日源寺の裏まで抜け穴を掘って脱出口としたそうで今も抜け穴を垣間見ることができる。信濃守は82歳で死去したが、お墓は寺と村の墓地の2か所にある。

戦国時代を彷彿させる史跡ではないでしょうか、一度たずねてみては・・・。

(山田)



白線で囲まれた部分がお堀

## 編集後記

美しく豊かな自然環境の中に、歴史文化財、温泉地、そして多くの優良企業を有している本市で、地元の農産物や海産物を食して、日々生活をしている。この愛する郷土の繁栄と市民の幸福のため、議員は汗をかいてまいります。

さて、今や世界一の長寿国となった我が国は、急増する高齢者、少子化に伴う人口減少と、大きな課題に直面しています。地方から都市圏への人口流出を食い止めるためにも、若者の雇用創出や地域の活性化に取り組む必要があります。安全で、安心して産み、育て、住みよい環境づくりが求められております。この「議会だより」が、全国に誇れるあわら市を、市民の皆様と議会が心を通わせるための一助になれば幸いです。

(平野)

## 編集・発行責任者

議長 笹原 幸信

## 市議会広報編集特別委員会

委員長 山田 正武

副委員長 山本 知一郎

委員 平野 時篤

委員 毛利 純雄

委員 山田 重喜

委員 山田 重喜

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局  
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp